

# 西東京市環境白書 環境活動レポート

平成24年度  
(平成24年4月～平成25年3月)



平成25年10月  
西東京市



いこいーな  
©シンエイ/西東京市



# 目次

1. 環境白書・環境活動レポートについて	1
1-1 環境白書・環境活動レポート	1
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成	1
2. 西東京市環境基本計画とエコアクション21について	2
3. 環境方針	3
4. 推進体制	4
5. 西東京市の概要	5
6. 西東京市環境基本計画の取組状況	7
基本方針1	7
基本方針2	11
基本方針3	13
基本方針4	17
7. 温室効果ガス削減の取り組み	19
7-1 環境目標	19
7-2 エネルギーに関する取組状況	20
7-3 各課の環境活動	23
7-4 職員研修	29
7-5 環境コミュニケーション	29
7-6 環境法規制等の遵守状況	30
7-7 市長による全体評価及び見直し	31



# 1. 環境白書・環境活動レポートについて

## 1-1 環境白書・環境活動レポート

西東京市環境白書・環境活動レポートは、1年間の西東京市役所の環境の取り組みをまとめたもので、次の3つの役割を果たします。

☆「西東京市環境基本計画」の進捗状況の点検・評価

☆西東京市の環境の現状や市が実施している環境に関する施策などの周知

☆エコアクション21の環境活動レポートとして、市の環境活動の取組状況の報告

「西東京市環境基本計画」では、豊かな環境を次世代に残すため、4つの基本方針の下に目標を設定し、その進捗状況を環境白書で報告することとしています。また、エコアクション21は、環境省が推進している認証登録制度で、西東京市が「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」※で掲げている温室効果ガス削減目標の達成や、地域の環境の保全・創造のために取り組んでいる環境マネジメントシステムです。エコアクション21では、毎年エネルギーデータや環境活動について「環境活動レポート」で公表することとしています。

そのため、環境白書・環境活動レポートは、環境基本計画に基づく環境の保全等に関する施策の進捗状況を示す環境年次報告書であると同時に、エコアクション21の要求事項である規定された環境活動レポートの役割を果たします。

※平成16年3月に策定された「西東京市地球温暖化対策実行計画」は、平成23年3月より「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」に移行しました。

## 1-2 環境白書・環境活動レポートの構成

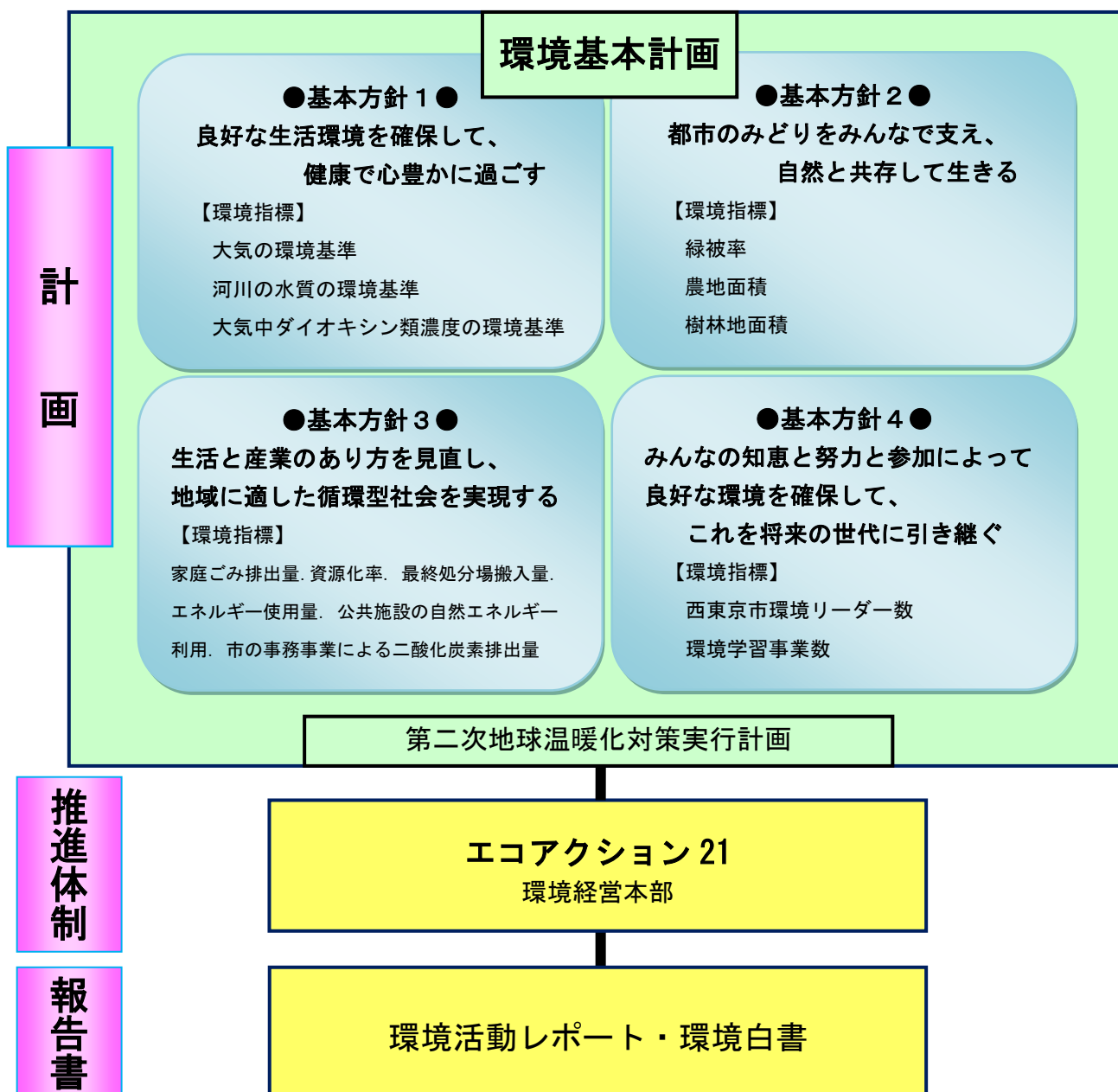
この報告書は、前半が環境基本計画の目標の進捗状況をまとめた環境白書、後半が市の事務事業から排出される温室効果ガス削減の取り組み（エコアクション21）をまとめた環境活動レポートとなっています。

環境基本計画の基本方針の進捗状況については「6. 西東京市環境基本計画の取組状況」を、環境施策の中でも市の事務事業から排出される温室効果ガスの削減に関する取り組みについては「7-2 エネルギーに関する取組状況」をご覧ください。また、環境基本計画、第二次地球温暖化対策実行計画の目標として設定されていない取り組みについても、「7-3 各課の環境活動」で紹介しています。

## 2. 西東京市環境基本計画とエコアクション21について

「西東京市環境基本条例」に基づいて策定した「西東京市環境基本計画」では、西東京市の目指す環境の将来像を4つの基本方針でまとめ、それらを実現するための目標や重点プロジェクトを設定しています。環境基本計画の進捗状況は、毎年「環境年次報告書（環境白書）」で公表します。

西東京市では、環境に関する総合的な計画としての「環境基本計画」の他に、「みどりの基本計画」や「一般廃棄物処理基本計画」など、事業毎に計画が策定されています。その中で、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定した「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」は、市の事務事業で排出される温室効果ガスの削減を目的としています。この計画を推進するため、エコアクション21を運用し、全庁的に温室効果ガスの削減に取り組んでいます。エコアクション21では、毎年、温室効果ガス削減の取り組みと実績等を「環境活動レポート」で公表することになっています。



### 3. 環境方針

#### 西東京市環境方針

##### 1 基本理念

西東京市は、縄文時代の集落跡や、農地、屋敷林、雑木林に代表される武蔵野の景観など、先人が創り上げた豊かな環境を受け継いできました。

しかし、首都近郊という立地特性から都市化が進み、物質の豊かさや利便性の高さを求める資源やエネルギーを大量に消費する生活が中心になり、西東京市においても、身近な環境問題から地球規模の環境問題に至る多種多様な環境問題が顕在化しています。

西東京市役所（以下「市」という。）は、市内の事業所のひとつとして「西東京市環境基本条例」「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」及び「西東京市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、良好な環境を将来の世代に引き継ぐため、再生可能エネルギーを積極的に導入するなど、限りある資源を有効に活用し、身近な環境問題から地球規模の環境問題の改善に継続的に取り組み、多様な生物が共生した持続可能な低炭素社会の構築に努めます。

##### 2 基本方針

基本理念に基づき、環境に関する合意事項及び法規制を遵守し、西東京市環境マネジメントシステムにより環境活動計画を定め、次の項目に取り組みます。

(1) 環境に配慮した事務・事業を推進します。

- ① 省資源、省エネルギー、廃棄物の減量及びリサイクルなどを推進し、市が排出する温室効果ガスの発生抑制に努めます。
- ② 公共施設における再生可能エネルギー機器の導入を推進します。
- ③ 公共工事、委託業務における環境負荷の低減に努めます。
- ④ グリーン購入を推進します。
- ⑤ その他、市が行う事務・事業の環境負荷の低減に努めます。

(2) 環境に関する様々な情報を発信するとともに、環境学習を推進し、市民に対する環境意識の高揚を図ります。

(3) 環境白書（環境活動レポート）を作成し、市の活動内容を公表します。

(4) 市の環境状況を把握するため、各種環境測定や監視を継続し、公表します。

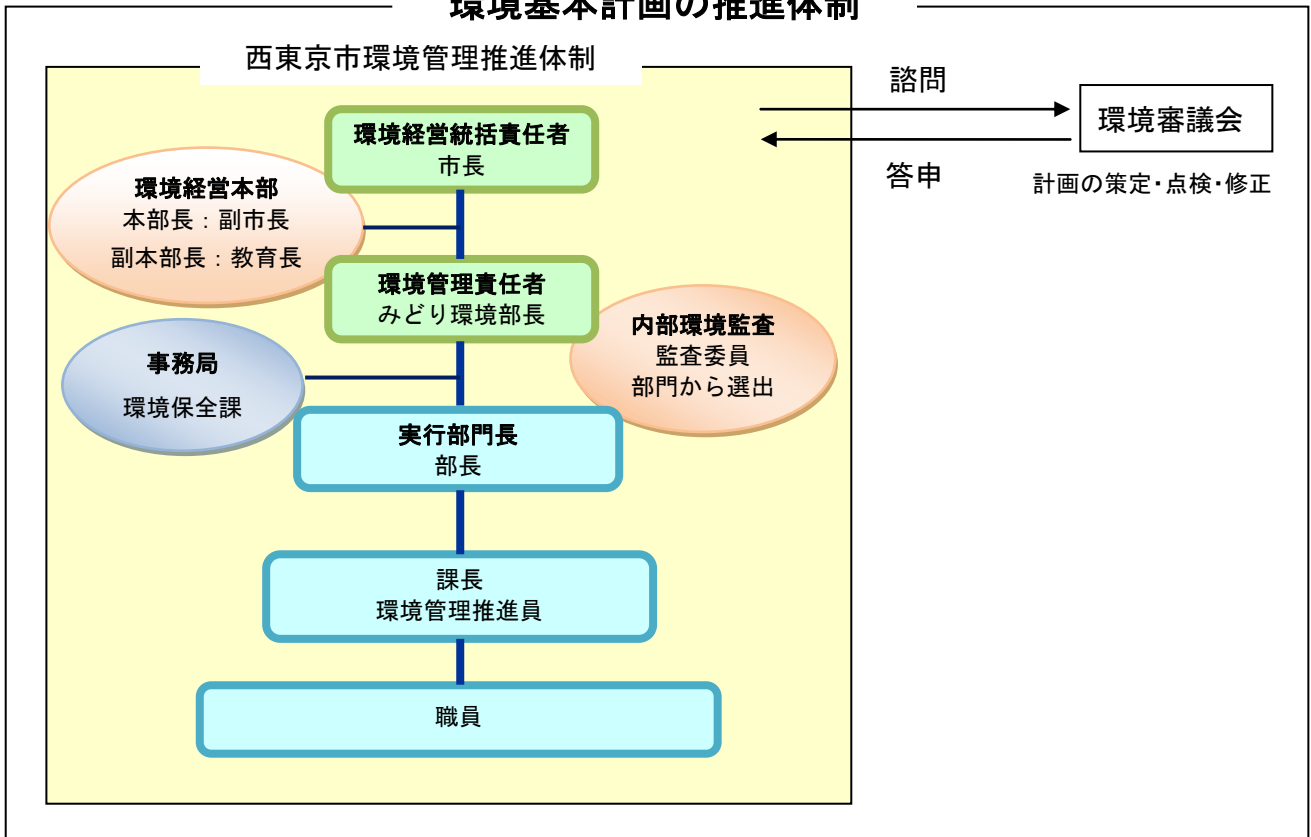
(5) 職員の環境保全に対する意識の向上を図るため、教育・訓練を行います。

平成 25 年 9 月 1 日

西東京市長 丸山 浩一

## 4. 推進体制

### 環境基本計画の推進体制



#### 【エコアクション21 対象組織】

エコアクション21は全組織が対象範囲となります。

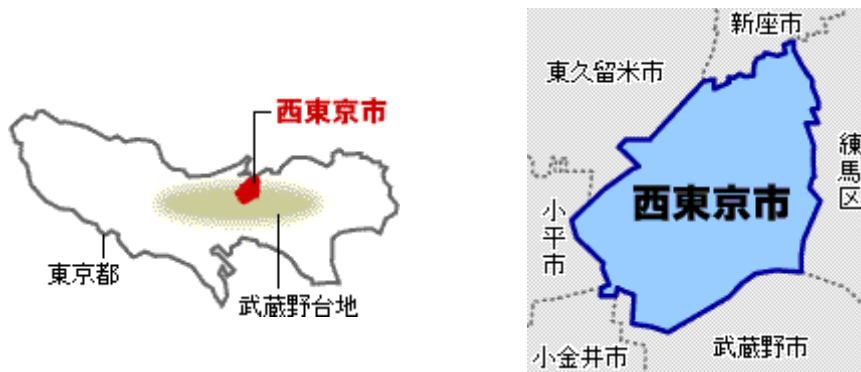
部	課・施設
企画部	企画政策課・財政課・秘書広報課・情報推進課
総務部	総務法規課・管財課・職員課・建築営繕課・契約課
危機管理室	
市民部	市民課・保険年金課・健康課・市民税課・資産税課・納税課
福祉部	生活福祉課・高齢者支援課・障害福祉課
子育て支援部	子育て支援課・保育課・児童青少年課・子ども家庭支援センター・ 保育園（市内13園）・児童館（市内11館）
生活文化スポーツ部	文化振興課・スポーツ振興課・産業振興課・協働コミュニティ課
みどり環境部	みどり公園課・環境保全課・ごみ減量推進課
都市整備部	都市計画課・用地課・道路建設課・道路管理課・下水道課
会計	会計課
議会事務局	
教育委員会 教育部	教育企画課・学校運営課・教育指導課・教育支援課・社会教育課・ 公民館（市内6館）・図書館（市内7館）・市立小中学校（全28校）
選挙管理委員会事務局	
監査委員事務局	

※平成24年度現在の組織名称



## 5. 西東京市の概要

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約 20km で、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅（田無駅・ひばりヶ丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅）があります。都心部とのアクセスが非常に良く、住宅都市として発展してきています。市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。



### 《西東京市の概況》

面積	15.85km <sup>2</sup>
人口・世帯数	197,447 人 91,371 世帯(平成 25 年 3 月 31 日現在)

### 《事業所の概況》

自治体名	東京都 西東京市
代表者	市長 丸山 浩一
所在地	東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号
平成 24 年度当初予算額（一般会計）	66,717,000 千円
職員数	1,062 人(平成 25 年 3 月 1 日現在)
環境管理責任者	みどり環境部長 湊 宏志

### 《事業活動の内容》

一般行政事務、保育、教育など市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供。



《環境に関するこれまでの取り組み》

	環境マネジメントシステムの取り組み	その他の取り組み
平成 14 年 4 月		環境基本条例制定
平成 15 年 10 月	I S O 14001 認証取得	
平成 16 年 3 月		環境基本計画策定 地球温暖化対策実行計画（前期実行計画）策定
平成 18 年 5 月	学生参加による内部監査の実施	
平成 18 年 10 月	I S O 14001 更新	
平成 20 年 3 月		地球温暖化対策実行計画（後期実行計画）・環境配慮行動の指針・環境学習基本方針策定
平成 20 年 8 月	エコアクション 21 運用開始	
平成 21 年 3 月		環境基本計画改定
平成 21 年 4 月	エコアクション 21 認証取得	
平成 22 年 3 月		地球温暖化対策地域推進計画策定
平成 22 年 6 月	環境方針改訂	
平成 23 年 3 月		第二次地球温暖化対策実行計画策定

## 6. 西東京市環境基本計画の取組状況

### 基本方針1 良好な生活環境を確保し、健康で心豊かに過ごす

【環境指標】①大気環境基準 ②河川の水質環境基準 ③大気中ダイオキシン類濃度の環境基準

総合評価：光化学オキシダントを除いた大気、河川水質の環境指標は目標を達成しています。大気や河川など広域的な環境問題は、他自治体や国・都との連携が欠かせません。より良い環境を維持・確保するために、今後も広域的な連携を保ちながら、環境指標の調査・監視を継続していきます。

(○…目標を達成した △…目標未達成)

環境指標	25年度目標	24年度実績	評価	担当課
大気環境基準達成状況 ・二酸化窒素 ・浮遊粒子状物質 ・光化学オキシダント	全ての測定地点が環境基準を下回る	(達成地点数/測定地点) 二酸化窒素：3/3 浮遊粒子状物質：3/3 光化学オキシダント：0/1	△	環境保全課
河川水質の環境基準達成状況 (BOD濃度年平均値) 環境基準：5.0mg/ℓ以下	全ての測定地点が環境基準を下回る	石神井川境橋：3.4 mg/ℓ 石神井川溜淵橋：0.6 mg/ℓ	○	環境保全課
大気中ダイオキシン類濃度の環境基準達成状況	全ての測定地点が環境基準を下回る	(達成地点数/測定地点) 3/3	○	環境保全課

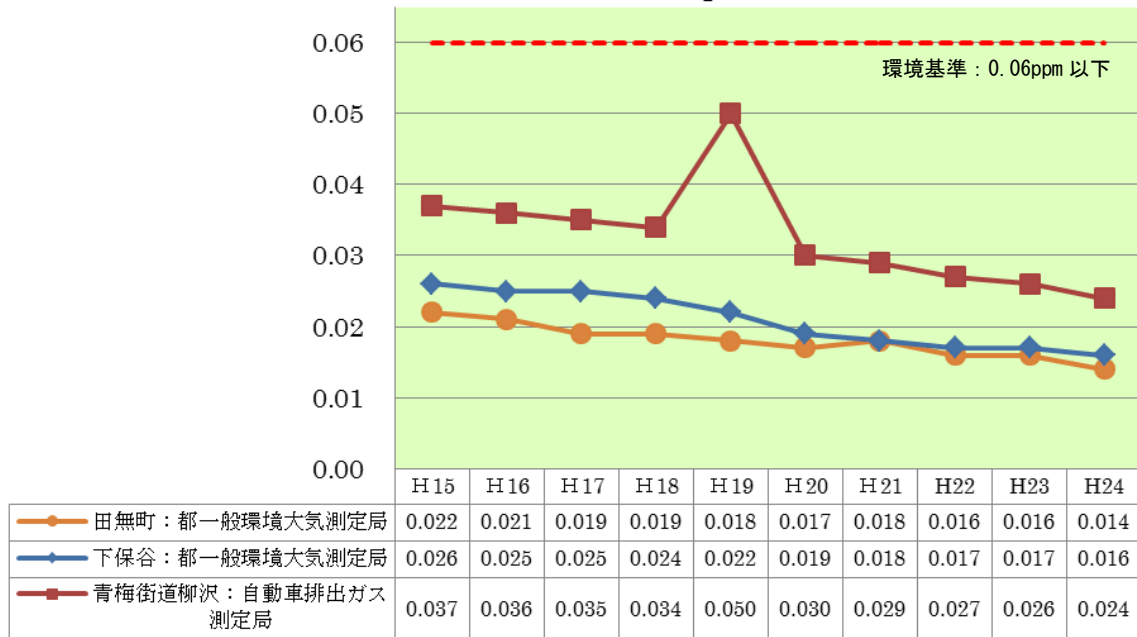
#### 【大気環境基準】

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、測定地点全てで環境基準を下回り、目標を達成しています。光化学オキシダントについては、平成24年度は、注意報(0.12ppm以上)が2回、学校情報(0.10ppm以上)が13回発令され、環境基準を達成できませんでした。

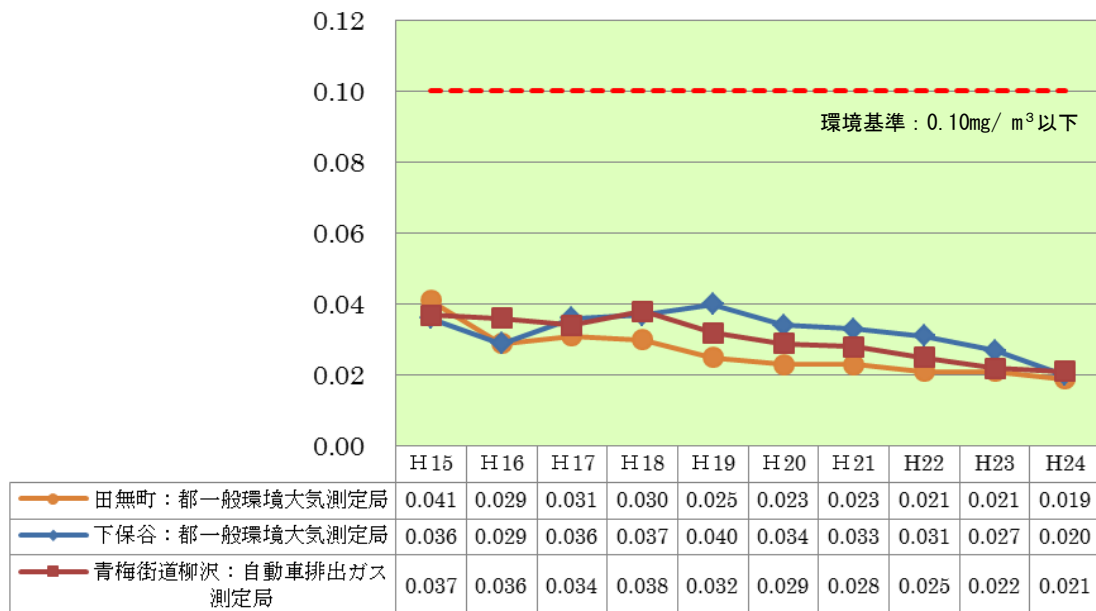
測定地点	田無町	下保谷	青梅街道柳沢
二酸化窒素 (ppm) 環境基準：0.06ppm以下	0.014	0.016	0.024
浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> ) 環境基準：0.10mg/m <sup>3</sup> 以下	0.019	0.020	0.021
光化学オキシダント 環境基準：1時間値が0.06ppm以下	年平均 0.034		

出典：東京都資料

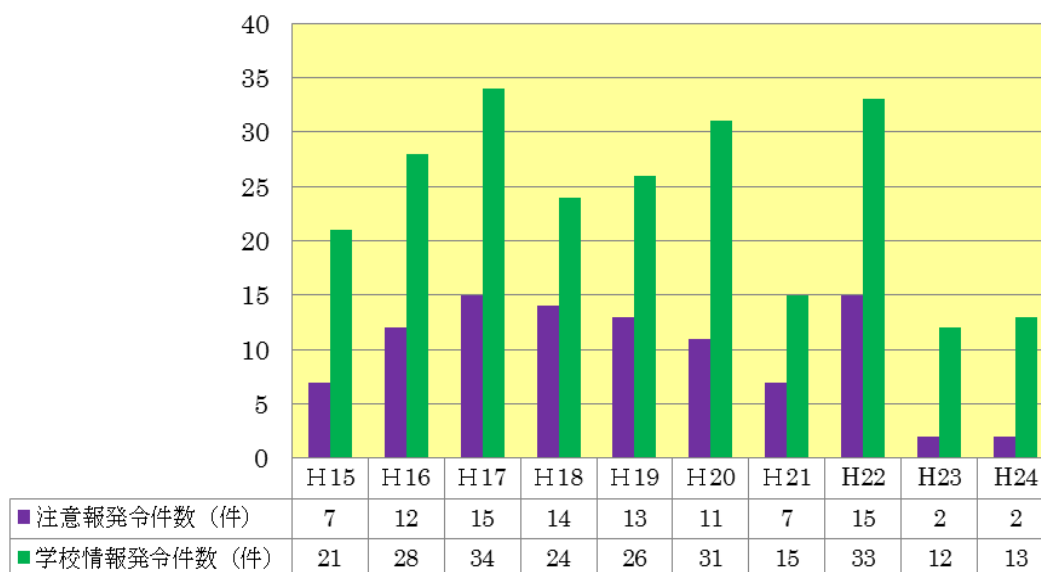
大気中二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の経年変化(年平均)



大気中浮遊粒子状物質(SPM)の経年変化(年平均)



### 光化学スモッグ発令件数



### 【河川水質】

石神井川は、昭和 60 年に環境基準を達成し、きれいな水を取り戻しつつあります。東伏見小学校北側の弥生橋周辺は、親水公園化の計画が進められています。また、市民ボランティアが毎月定期清掃を行っています。最近では、カモの親子の姿が見られるなど生態系の回復の兆しも見えてきています。

白子川については、水質は以前より改善してきていますが、環境基準値を上回っています。

測定場所 環境基準 = C 類型 : 5mg/l D 類型 : 8mg/l		生物化学的酸素要求量 [BOD]	
		75%水質値	年平均値
石神井川 (C 類型)	境橋	—	3.4
	溜淵橋	0.6	0.8
白子川 (D 類型)	下保谷	—	12

### 【コラム】光化学スモッグって何？

光化学スモッグは、自動車や工場・事業場などから排出された大気中の窒素酸化物や揮発性有機化合物 (VOC) が太陽光 (紫外線) を受けて光化学反応により発生します。光化学反応により生成される酸化性物質のうち、二酸化窒素を除いたものを「光化学オキシダント」と呼びます。光化学スモッグは高度成長期の 1970 年代に多く発生しました。公害に対する意識の高まりや法整備が進められ、1980 年代以降徐々に減少しましたが、近年は増加傾向にあります。

### 【大気中ダイオキシン類濃度】

大気中のダイオキシン類濃度は、測定全地点で環境基準を下回り、目標を達成しています。西東京市環境基本計画が策定された平成 14 年度には、5 地点の平均で約 0.10 ピコグラム-TEQ/m<sup>3</sup>でしたが、平成 20 年以降は、0.03 ピコグラム-TEQ/m<sup>3</sup>前後で推移し、低下傾向にあります。

測定場所 環境基準：0.6	大気中ダイオキシン類調査 単位：(毒性等量) ピコグラム-TEQ/m <sup>3</sup>	
	平成 24 年 8 月 15 日～22 日	平成 25 年 2 月 7 日～14 日
青嵐中学校	0.016	0.032
保谷庁舎	0.017	0.026
田無第一中学校	0.015	0.028

## 基本方針2 都市のみどりをみんなで支え、自然と共存して生きる

【環境指標】①緑被率 ②農地面積 ③樹林地面積

総合評価：都市化とともに市内のみどりは減少傾向にあります。そのような状況の中で、みどりのカーテンなど、ひとりひとりができることを行い、みどりの大切さを意識することが重要です。

(○…目標を達成した △…目標未達成)

環境指標	25年度目標	24年度実績	評価	担当課
緑被率	概ね30%を維持 <sup>※1</sup>	26% (平成20年度値)	△	みどり公園課
農地面積	160ha <sup>※2</sup>	152ha <sup>※3</sup>	△	目標：産業振興課 実績：資産税課
樹林地面積	現在の緑被率を維持する中で、現在の樹林地面積を維持	約181ha <sup>※3</sup> (平成20年度値)	○	みどり公園課

※1 西東京市みどりの基本計画：平成16年7月策定：計画期間 平成16年度～平成35年前後

※2 西東京市農業振興計画：平成16年3月策定：計画期間 平成16年度～平成25年度

※3 市内農地面積及び樹林地面積は東京大学附属農場を含んでおりません。

### 【緑被率】

みどりは憩いの場であり、安らぎをもたらすことに加えて、火災の延焼防止や都市水害の軽減、避難場所の提供など防災の効果も担っています。また、ヒートアイランド現象の緩和などの都市環境の改善や生物の生存基盤としても重要な役割を担っています。

西東京市では、平成16年7月に「西東京市みどりの基本計画」を策定し、この計画の中で10年から20年後の数値目標として、緑被率を現在のおおむね30%を維持していくとしています。平成20年度に行った調査では、課税対象用に撮影した写真から算定したもので、前回までの数値31.8%（平成5年度調査）から5%以上みどりが減少しています。都市化が進むにつれてみどりが減少する傾向にありますが、みどりの効果を理解し、みどりの保全を図る必要があります。



東伏見公園の様子

### 【農地面積】

都市農業は、新鮮な農産物を地域に供給するとともに、みどりや防災機能としての生活環境、生態系などの自然環境の保持など様々な役割を担っています。

平成11年に国が制定した「食料・農業・農村基本法」では、食料安定供給とともに農業の多面的機能の発揮に向けた農業・農村の持続的な発展をうたい、農業の重要性や各主体の役割なども定めています。この基本法に基づき、西東京市では平成16年3月に「西東京市農業振興計画」を策定し、農業の振興を図っています。

しかし、農地が宅地などに転用されてきた結果、平成13年には189haあった農地は、平成24年は152haまで減少しました。農地の減少の背景には、後継者不足などがありますが、市民の農地に対する理解をすすめ、都市の農地を保全していく必要があります。

### 【樹林地面積】

市内各所に数多く残されている樹木・樹林ですが、維持管理の困難や相続の発生により減少しつつあります。そのため市では保存樹木・樹林の指定を行い、保全を支援してきましたが、さらなる施策の充実も検討していかなければなりません。

また、個人や事業所が所有する樹林地などは、地域全体の協力で保全していく必要があります。みどりの散策路めぐりなどのイベントを通じて、保全の機運を高めていくとともに、所有者への協力もお願いする必要があります。



市内に残る木々



### 基本方針3 生活と産業のあり方を見直し、地域に適した循環型社会を実現する

【環境指標】①1人1日あたりのごみ排出量 ②資源化率 ③最終処分場搬入量

④市内でのエネルギー使用量（電気・都市ガス・上水道）

⑤公共施設での自然エネルギー利用状況 ⑥市の事務事業による二酸化炭素排出量

総合評価：ごみ・資源については、分別に対する市民の理解と協力のもと、市民1人あたりのごみ排出量は減少傾向にあります。エネルギー使用量については、人口の増加に伴って増加傾向にあります。

(○…目標を達成した △…目標未達成)

環境指標	25年度目標	24年度実績	評価	担当課
1人1日あたりのごみ排出量※1	365g/人・日 (平成28年度目標)※3	382g/人・日	△	ごみ減量推進課
資源化率 (資源物量/家庭系ごみ量※2×100)	35.5% (平成28年度目標)※3	32.7%	△	ごみ減量推進課
最終処分場搬入量	大幅な削減 (平成28年度目標)※3	4,432 t	○	ごみ減量推進課
市内でのエネルギー使用量 ・電気 ・都市ガス ・上水道	14年度実績比 10%削減	電気：643GWh 都市ガス：4,616万m <sup>3</sup> 上水道：1,957万m <sup>3</sup>	△	環境保全課
公共施設自然エネルギー利用状況	今後目標を設定	20施設※4	—	建築営繕課
市の事務事業によるCO <sub>2</sub> 排出量	21年度実績以下	8,208,348kgCO <sub>2</sub>	△	環境保全課

※1 1人1日あたりのごみ排出量：可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ

※2 家庭系ごみ量：可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ+柳泉園自己搬入可燃ごみ+資源物量

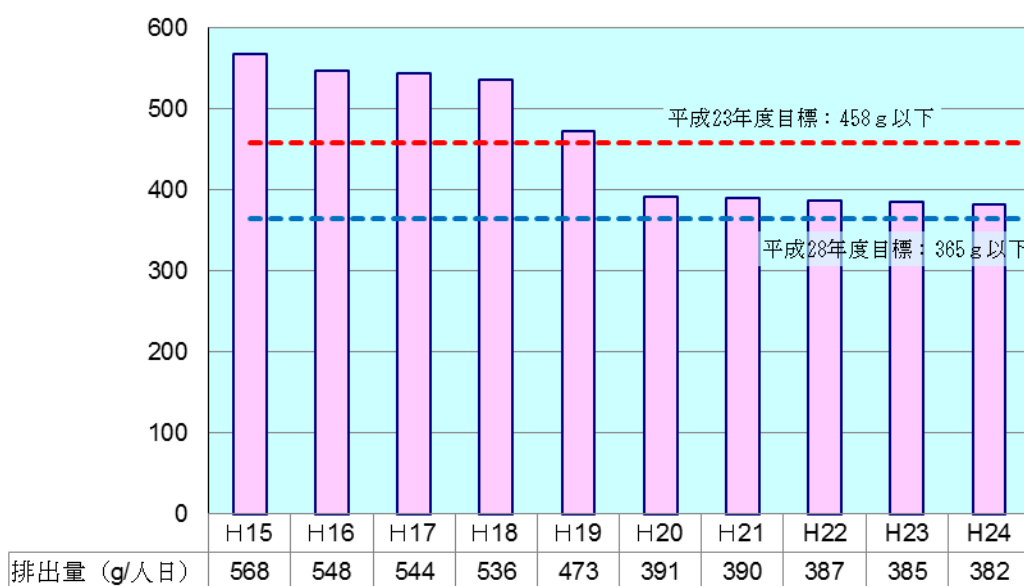
※3 平成24年3月策定の西東京市一般廃棄物処理基本計画（計画期間 平成24年度～平成33年度）より

※4 太陽光発電または太陽熱利用システムを導入した公共施設数

### 【1人1日あたりのごみ排出量】

ごみ排出量とは、「可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみ＋有害ごみ」の合計です。平成24年度の1人1日あたりのごみ排出量（収集量）は、382gで、前年度より3g減り、前年同様目標を達成しました。戸別収集、プラスチック容器包装類の分別収集、家庭ごみ袋の有料化によって、市民のごみの減量意識が高まり、平成19年から20年までにかけては大きくごみの排出量が減りましたが、平成20年から24年までにかけては微減となっています。リバウンド防止のためにも更に3R（リデュース、リユース、リサイクル）をより効果的に進めていく必要があります。

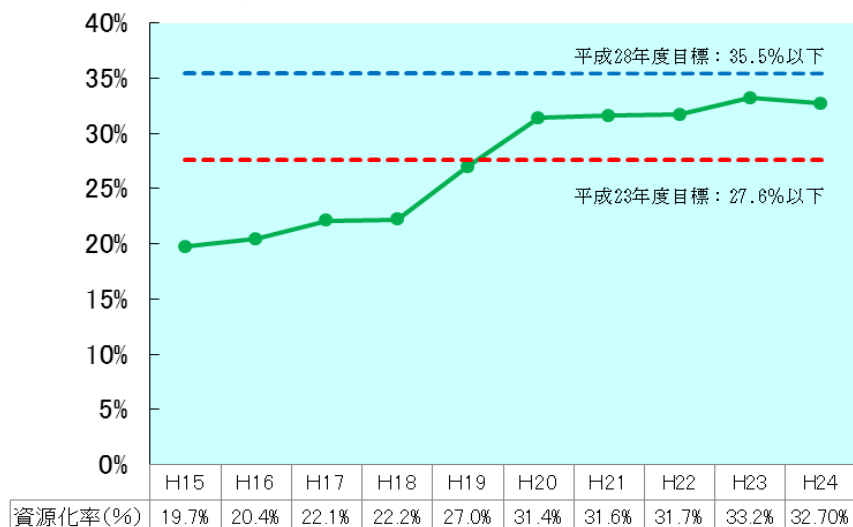
1人1日あたりごみ排出量経年変化



### 【資源化率】

平成19年度からプラスチック容器包装類の分別収集並びに金属類及び廃食用油の集積所回収を開始しました。これらの事業により、資源化率は伸びていますが、更に目標値に向け進めていきます。

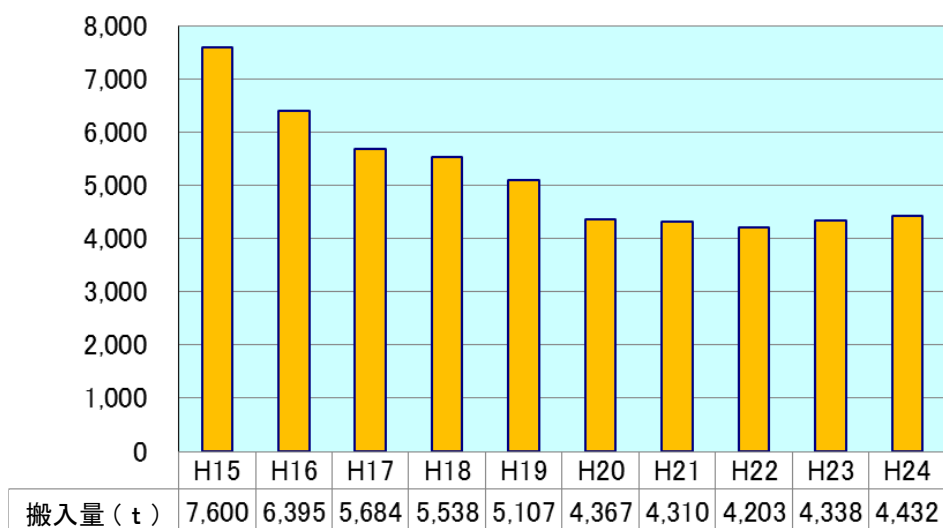
資源化率経年変化



### 【最終処分場搬入量】

最終処分場搬入量はほぼ横ばいになっており、10年前の平成15年度比で約42%削減しました。現在、可燃ごみの焼却灰はエコセメントの原料としてリサイクルしており、ニツ塚廃棄物広域処分場（最終処分場）への埋め立て量はゼロとなっています。

最終処分場搬入量経年変化



### 【市内エネルギー使用量】

電気・ガス・上水道のエネルギー使用量は、目標を達成できませんでした。平成22年度以降、エネルギーの使用量は減少傾向にあります。人口増加や猛暑などの影響により目標には達していません。

電力使用量の目標値である641GWh（平成14年度値の10%削減）には達しませんが、昨年度に比べて3GWh削減しました。市民の日常生活や事業所での節電の取り組みが定着している成果であると考えられます。

都市ガス、上水道の目標値は、それぞれ4,296万 $m^3$ （平成14年度値の10%削減）、1,714万 $m^3$ （平成14年度値の10%削減）でした。目標を達成することができませんでしたが、都市ガスは6万 $m^3$ 、上水道は79万 $m^3$ の使用量を削減しています。

### 【公共施設自然エネルギー導入】

平成 24 年度は、太陽光発電システムを保谷こもれびホールに設置しました。平成 24 年度末現在、20 箇所の公共施設で太陽光・太陽熱エネルギーを利用したシステムを取り入れていきます。今後も建て替えや新規施設の設置時には、できるだけ自然エネルギーシステムを取り入れるようにするほか、雨水・中水利用や雨水貯留・浸透施設の設置を進めています。

### 【市の事務事業における CO<sub>2</sub> 排出量】

市の事務事業による CO<sub>2</sub> 排出量削減の達成状況の詳細については、p19「7. 温室効果ガス削減の取り組み」で報告します。



公共施設の太陽光発電システム

**基本方針4 みんなの知恵と努力と参加によって良好な環境を確保して、これを将来の世代に引き継ぐ**

【環境指標】①西東京市環境リーダー数 ②環境学習事業数

総合評価：市民の働きかけによる環境学習が増加傾向にあり、関心・意欲も高まってきています。エコプラザ西東京は、環境学習の拠点として様々な環境講座や情報を発信しているほか、市民団体の活動の場として利用されています。

(○…目標を達成した △…目標未達成)

環境指標	25年度目標	24年度実績	評価	担当課
西東京市環境リーダー数	100人	エコリーダー養成講座 修了生 累計93人	△	環境保全課
環境学習事業数	年間10回以上	108回	○	環境保全課ほか

**【西東京市環境リーダー数】**

西東京市では、平成18年にNPO企画提案事業として「環境サポーター養成講座」を開催し、平成19年からは環境保全課の主催で「エコリーダー養成講座」を開催しています。これまで93名が講座を修了し、エコリーダーとして地域での活動を行っています。平成24年度は、「ヤゴ救出作戦」を市内の小学校3校で実施し、201人の児童が参加しました。今後も、エコリーダーの活動の場をつくり、地域の環境保全活動の普及を目指します。



ヤゴ救出作戦の様子

**【環境学習事業数】**

環境学習事業は、市民団体と協働で開催する事業や参加型・体験型の事業が増えています。例えば、みどり公園課主催の「みどりの散策マップ」に設定したコースや近隣5市に残る水と緑の散策コースを散策する事業では、自然にふれ、親しむことができます。

日々の食生活から環境を考える事を学ぶエコ・クッキング推進事業では、市内の小・中学校で出前授業を実施しました。新たな実施校も増え、若い世代へエコの知識を普及しています。出前授業には、西東京市で養成したエコ・クッキングナビゲーターを派遣しています。



主 催	内 容
みどり公園課 (7回)	① 自然観察会 ② みどりの散策路めぐり(ボランティア団体との協働事業・5回) ③ 水と緑ウォッチングウォーク(広域行政圏事業)
環境保全課(64回)	① 環境フェスティバル ② エコ・クッキング(一般向け4回、派遣講座小学校7校12回・中学校2校8回) ③ 大気の簡易測定体験講座(6月・12月) ④ エコプラザ西東京主催事業(37講座)
ごみ減量推進課 (16回)	① 市内一斉清掃(5月・9月) ② りさいくる市(8回) ③ ポイ捨て・路上喫煙防止キャンペーン(5回) ④ 出前講座「ごみの減量とリサイクル」(1回)
公民館(21回)	① 子育て中の母親のための環境講座(田無公民館) ② エコ生活実践講座(谷戸公民館) ③ 農業を知る講座(谷戸公民館) ④ カラダと環境にやさしい暮らしの講座(ひばりが丘公民館) ⑤ どうする環境とエネルギー(保谷駅前公民館) ⑥ 市民企画事業 「夏休み親子自然観察会」ほか15講座



エコプラザ西東京主催事業

「牛乳パックから手すきのマイはがきを作ろう！」の様子



エコ・クッキングの様子



市内一斉清掃の様子



みどりの散策路めぐりの様子

## 7. 温室効果ガス削減の取り組み

### 7-1 環境目標

エコアクション21に基づく平成24年度全体目標は次のとおりです。

	種 別	数 値 目 標	
温室効果ガス	基準施設※	電気起源 CO <sub>2</sub>	平成21年度実績以下
		灯油起源 CO <sub>2</sub>	平成21年度実績以下
		A重油起源 CO <sub>2</sub>	平成21年度実績以下
		LPG起源 CO <sub>2</sub>	平成21年度実績以下
		都市ガス起源 CO <sub>2</sub>	平成21年度実績以下
		合 計	平成21年度実績以下
	公用車	ガソリン起源 CO <sub>2</sub> ・CH <sub>4</sub> ・N <sub>2</sub> O	平成21年度実績以下
		軽油起源 CO <sub>2</sub> ・CH <sub>4</sub> ・N <sub>2</sub> O	平成21年度実績以下
		天然ガス起源 CO <sub>2</sub>	平成21年度実績以下
		冷媒起源 HFC	平成21年度実績以下
		合 計	平成21年度実績以下
	総排出量	平成21年度実績以下	
水道使用量		前年度実績以下	
廃棄物排出量		前年度実績以下	
コピー用紙・封筒購入量	対象：田無庁舎・保谷庁舎・公民館・図書館	前年度実績以下	
グリーン購入調達目標		全ての品目において調達率90%以上	

※基準施設、特定施設：西東京市第二次地球温暖化対策実行計画の対象施設を基準施設とし、それ以外の施設を特定施設としています。

また、各課・各施設において環境目標を定め、環境負荷の削減、環境保全活動の実践に努めています。西東京市では、平成20年3月に「西東京市環境配慮行動の指針」を策定し、地球温暖化対策のために職員が取り組むべき具体的な行動計画を設定し、全庁的に取り組んでいます。取組内容は、「環境配慮行動チェックリスト」に基づき、各課で該当する項目について達成状況を「環境活動実績評価表」「環境活動実績中間報告書」で確認しています。



## 7-2 エネルギーに関する取組状況

市の事務事業により使用されたエネルギーや廃棄物削減の取組状況です。

### ① 温室効果ガス（対象：第二次地球温暖化対策実行計画に基づく基準施設）

目標	21年度実績値	24年度実績値	基準年度比	評価
21年度実績以下	7,169,970kg CO <sub>2</sub>	8,208,348kg CO <sub>2</sub>	14.5%増加	×

（エネルギー別内訳）

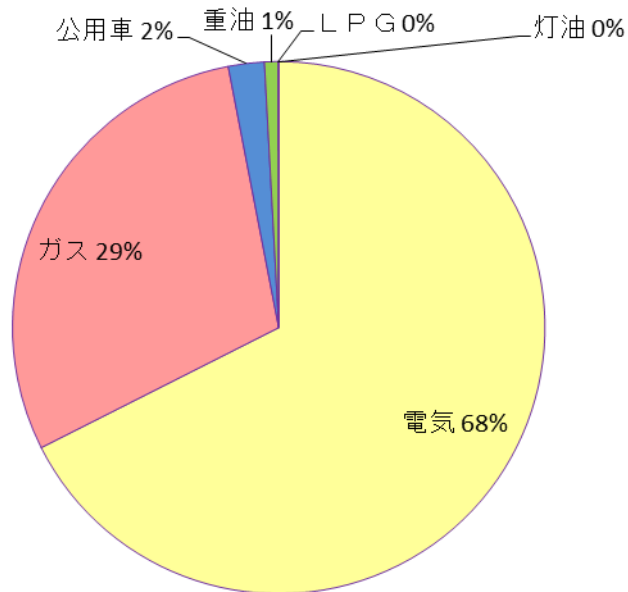
種別	目標	基準年度値	24年度実績値	基準年度比	評価	
施設	電気起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	4,734,052kg CO <sub>2</sub>	5,544,865kg CO <sub>2</sub>	17.1%増加	×
	灯油起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	10,013kg CO <sub>2</sub>	1,369kg CO <sub>2</sub>	86.3%削減	○
	A重油起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	159,234kg CO <sub>2</sub>	69,223kg CO <sub>2</sub>	56.5%削減	○
	LPG起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	32,931kg CO <sub>2</sub>	27kg CO <sub>2</sub>	99.9%削減	○
	都市ガス起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	2,017,812kg CO <sub>2</sub>	2,413,817kg CO <sub>2</sub>	19.6%増加	×
	合計	21年度実績以下	6,954,042kg CO <sub>2</sub>	8,029,301kg CO <sub>2</sub>	15.5%増加	×
公用車	ガソリン起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	91,317kg CO <sub>2</sub>	78,022kg CO <sub>2</sub>	14.6%削減	○
	軽油起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	40,120kg CO <sub>2</sub>	47,030kg CO <sub>2</sub>	17.2%増加	×
	天然ガス起源 CO <sub>2</sub>	21年度実績以下	82,171kg CO <sub>2</sub>	53,995kg CO <sub>2</sub>	34.3%削減	○
	冷媒起源 HFC	—	—	2,535kg CO <sub>2</sub>	—	—
	合計	21年度実績以下	215,928kg CO <sub>2</sub>	179,047kg CO <sub>2</sub>	17.1%削減	○

平成24年度は、東日本大震災の影響が大きかった前年度に比べて無理のない範囲で節電に取り組んだため、電気の使用量は微増しました。また、電気の二酸化炭素排出係数が大きく増加したため、電気起源の二酸化炭素排出量は大きく増加しました。今後も、事務事業における節電の取り組みを継続し、公共施設利用者へ配慮しながら節電に取り組めます。

灯油とLPGについては、菅平少年自然の家の廃止に伴い大幅に減少しました。都市ガスについては、小・中学校の空調機の導入により増加しました。

公用車の使用については、エコドライブを心がけています。また、近場の移動には、自転車の利用を推進しています。

### 市の事務事業における二酸化炭素総排出量



#### ② 温室効果ガス（対象：全ての公共施設及び公用車からの排出量）

目標	23年度実績値	24年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	8,271,162kg CO <sub>2</sub>	9,694,290kg CO <sub>2</sub>	17.2%増加	×

#### ③ 水道使用量（対象：学校を含む全公共施設の上水道使用量）

目標	23年度実績値	24年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	372,489m <sup>3</sup>	391,859m <sup>3</sup>	5.2%増加	×

東日本大震災の関係で徹底的な節水をした前年度に比べると、平成24年度は増加しました。今後も施設利用者に支障のない範囲で節水に取り組めます。

#### ④ 廃棄物排出量（対象：学校を含む全公共施設）

目標	種別	23年度実績値	24年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	可燃ごみ	497,850 kg	496,980 kg	0.2%減少	○
	不燃ごみ*	80,590 kg	56,770 kg	29.6%減少	○

※不燃ごみ：容器プラスチックを含む。

ごみの分別意識の浸透とコピー用紙等のリサイクルが進み、毎年減少しています。

⑤ コピー用紙購入量（田無庁舎・保谷庁舎・公民館・図書館）

目標	23 年度実績値	24 年度実績値	基準年度比	評価
前年度実績以下	10,353,000 枚	9,679,300 枚	6.5%減少	○

平成 24 年度も前年度実績以下の数量であり、目標を達成できました。両面コピーや裏紙の利用の徹底や、資料の配布は紙媒体ではなく、電子データで行うなど、庁内での意識改革が進んできたためと考えられます。

⑥ 封筒購入量

種別	目標	23 年度実績値	24 年度実績値	基準年度比	評価
角 2	前年度実績以下	30,000 枚	40,000 枚	33.3%増加	×
長 3	前年度実績以下	110,000 枚	120,000 枚	9.1%増加	×

平成 23 年度は在庫の封筒が多かったため、購入量が前年度比減でしたが、平成 24 年度は在庫が少なかったこともあり、相対的に購入量が増加しました。また、各部署で新規事業が実施されたことも要因となりました。

⑦ グリーン購入率

項目	目標	23 年度実績値	24 年度実績値	評価
対象品目	90%以上	91.3%	96.0%	○

平成 24 年度も目標を達成しました。グリーン購入適合品であることを確認する意識が浸透しています。ポンプ車の購入もありました。

⑧ 化学物質使用量

薬品の使用量については、購入数量に対して規制をするものではないため、評価はありませんが、各部署において適切に管理、使用しています。

## 7-3 各課の環境活動



各課の取り組みから特徴的な環境活動を紹介します。

### ①業務の効率化で省エネと市民サービスの向上を進めています。

#### ■秘書広報課

- ・掲載内容の統一化により読みやすく、親しみを持てる紙面となるよう工夫するとともに、紙面の削減に努めています。

#### ■市民課

- ・自動交付機の活用による窓口の混雑緩和を進めています。

#### ■市民税課

- ・eTAX(国税)及びeLTAX(地方税)の活用を普及推進し、業務の効率化を進めています。

#### ■健康課

- ・職員の創意工夫並びに新システムの活用により検診受診率の向上と作業効率上昇に取り組み、医療関連費・資源削減につなげています。

#### ■児童青少年課

- ・課の環境目標「学童クラブ育成料の支払方法の口座振替の促進」について、前年度比5%アップを目標としていましたが、保護者への周知が少しずつ図ることができたので約5%の利用率アップを達成し、事務の効率化が進みました。

#### ■障害福祉課

- ・身体障害者手帳を取得した方に配布している障害者の福祉制度の詳細を記載した「障害者のしおり」にSPコードを印刷しています。このコードを活字文書読上げ装置に当てると、機械が内容を音声で読み伝えてくれます。この仕組みにより視覚障害者の方からの電話等で制度内容についての問合せが少なくなりました。

### ②市役所・公共施設の省エネを進めています。

#### ■管財課

- ・公共施設のエネルギー使用量を把握し、削減の取り組みを進めています。また、「省エネ法」に基づくエネルギー削減計画を策定しました。

### ③子育て、教育でもユニークな環境学習に取り組んでいます。

#### ■保育園(保育課)

##### ・子ども服の再利用

不要な子どもの衣服を置ける専用のスペースを設置し、子ども衣料のリサイクルを推進しています。保護者には好評であり、職員、保護者、園児が環境を大切にする意識を一層持ちました。季節を問わず持ち込みがあり、品物を時々入れ替えて、多くの方が利用できるように工夫しています。



##### ・ペットボトルキャップの回収

職員、園児、保護者で取り組んでいます。ペットボトルキャップ回収の意味を子どもたちに伝えたり、1ヶ月ごとに回収できた数を掲示したり、「ワクチン〇人分が集まった」ことを子どもたちや保護者、地域の方に知らせています。



##### ・ペーパータオルの再利用

調理室で使用したペーパータオルを廊下の拭き掃除に使用しています。掃除機の使用頻度を少なくすることで省エネルギー化につなげています。

##### ・節水

ため水で牛乳瓶を洗ったり、手洗いや歯磨きの時に水を出しっぱなしにしないなど、水を大切に使うことを伝えています。

また、プールの水も簡易スプリンクラーを使って園庭の散水に再利用しています。簡易ミストをベランダの軒下に設置して気温の上昇を防ぐなどの対策を日常生活で子どもが見聞きし、環境への意識を高めるよう配慮しています。



##### ・植物を育てる

畑やプランターで野菜や植物を育て、園内の緑化で二酸化炭素削減や温度調節になることを学んでいます。園庭の落ち葉を堆肥化し、その土を使いトマト、きゅうり、ナス、枝豆などの野菜を作り収穫して子どもたちが食べています。



##### ・ごみの分別

子どもたちは、物の素材を知り、マークのついたごみ箱で楽しくごみの分別を覚えています。



#### ■児童館(児童青少年課)

- ・エコ工作などエコを意識した行事を取り入れ、利用者(乳幼児～高校生世代)へのエコ意識の啓発を図りました。田無柳沢児童センターでは、図書館から不要になった英字新聞を譲り受け、それを材料にエコバッグを作成しています。英字新聞を活用するとおしゃれなバッグができ、児童や保護者に好評です。
- ・平成 25 年度の学童クラブ入会決定通知を発送する封筒に「西東京市はエコ活動に取り組んでいます」と印字して発送し、環境意識啓発につながる活動を推進しました。



児童青少年課窓口の様子

#### ■教育指導課

- ・CO<sub>2</sub>削減月間の取組調査を行っています。児童・生徒の地球温暖化防止への意識と、環境に配慮した行動を実践する意欲を高めることをねらいとして、各学校でのCO<sub>2</sub>削減量を把握するため児童・生徒に家庭での調査を行っています。対象は、小学校5年生と中学校1年生です。家庭で行ったCO<sub>2</sub>削減のための取り組みによるCO<sub>2</sub>削減量を各学校で合計して、取組状況を把握しています。その成果もあり、芝久保小学校と明保中学校が平成 24 年度環境教育優良校として東京都から表彰されました。

#### ■学校運営課

- ・保谷小学校、柳沢小学校の校庭を芝生化しました。緑豊かな潤いのある空間をつくることで子どもたちの自然環境への関心を高めます。

### ④生活に密着した業務の中で環境意識啓発につながる活動を進めています。

#### ■秘書広報課

- ・夏の節電に伴い、家庭でもできる節電方法等について、環境部局の協力を得て広報西東京に掲載しました。

#### ■産業振興課

- ・市民農園の運営及び農業体験農園の整備支援により、都市農業への理解を進めています。



### ■みどり公園課

- ・市民団体と協働で花いっぱい運動を実施しています。公園などの公共空間の花壇の計画・植えつけ・管理を行い、花やみどりを感じる機会を増やしています。市における緑化運動の一環であり、公共用地への住民への主体的な美化活動や地域活動ともなっています。
- ・市民団体と協働で「みどりの散策マップ」を作成しました。市内に点在する公園や寺社などをネットワーク化し、散策ルートを設定するなど歩いて楽しめる空間づくりを推進しています。

### ■環境保全課

- ・市内の小学4年生へ、環境問題に対する関心を深めるとともに、自ら問題を解決するきっかけとなるように環境副読本「西東京市の環境」を配布しました。
- ・市民の環境意識を深め、自主的な環境保全活動への参加を促進するため、環境フェスティバルを開催しました。会場には約 6,000 人の方が訪れました。

### ■ごみ減量推進課

- ・ごみのゆくえ出前講座を開催し、西東京市のごみの現状、ごみ分別の大切さなどを市民に啓発する事業を実施しました。
- ・まちの美観や安全を守るため、ポイ捨て・路上喫煙防止キャンペーンを市内各駅周辺で実施しました。



環境フェスティバルの様子



路上喫煙防止キャンペーンの様子



ごみのゆくえ講座のリサイクル工作の様子



花いっぱい運動によるいこいの森公園の花壇



## ⑤都市基盤の整備を進めています。

### ■都市計画課

- ・公共交通空白地域へはなバス(コミュニティバス)を運行しています。

### ■道路建設課

- ・道路の透水性舗装や低騒音舗装を進めています。(右写真)

### ■下水道課

- ・雨水浸透施設の設置助成を行っています。



## ⑥エコと防災を両立させています。

### ■危機管理室

- ・災害備蓄食料の入替に伴う処分量を減らすことを目標にあげて取り組んでいます。毎年約3万食の期限切れ食料を入れ替えることとなりますが、有効活用として小学校や防災組織に災害備蓄食料を配布しています。

## ⑦生涯学習や文化・スポーツ活動でも地域の方と環境配慮に取り組んでいます。

### ■図書館

- ・市内の6図書館で展示コーナーを設け、環境関連の資料をまとめて展示し、環境への関心を促す取り組みを行います。環境にやさしい生活の資料だけでなく、節約エコ生活や環境保護について考えを深めるための資料など、工夫を凝らしています。



### ■公民館

- ・市内の6公民館での主催事業、市民企画事業でも多くの環境講座が開催されています。また、ごみ箱を撤去し、利用者に対してごみの持ち帰りを呼びかけており、掲示等により定着を図っています。

- ・各公民館のロビーのスポットライトをLED電球に取り替えました。

### ■市民会館(文化振興課)

- ・施設利用者に対しごみの持ち帰りをさらに周知徹底し、昨年度からさらに可燃ごみで537kgの削減を実現しました。

■高齢者支援課

- ・各福祉会館、老人福祉センターにおいて、施設の目標を掲げて省エネ、リサイクルに取り組んでいます。

■スポーツ振興課

- ・市民が多数参加するスポーツまつり等で、ごみの分別・持ち帰りやマイボトル持参の呼びかけを行い、大会開催時に排出されるごみの削減に努めるとともに、市民への環境配慮行動意識の普及啓発にも努めました。



## 7-4 職員研修

時間的制約を受けず、効果的に行うことができるeラーニングプログラムによる環境に関する三択問題形式の研修を全職員、嘱託員を対象に実施しました。職場で実践できる省エネのポイントや環境マネジメントシステムの知識理解の問題などが出題されました。

**問題 9**  
「エコアクション21」の目的はどれでしょうか？  
現在得点 20

- \* 持続可能な社会の構築
- 21世紀の環境を開発する取り組み
- 21世紀の環境を守る取り組み

[解答へ](#)

**正解**  
解説  
正解は  
**持続可能な社会の構築**  
そのためには、あらゆる主体が積極的に環境への取り組みを行うことが必要になります。エコアクション21は、事業者が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的としています。

[次の問題へ](#)

職員研修の一環として、内部環境監査を実施しています。内部環境監査員に任命された職員が別の部署の環境に関する取り組みを監査しています。

また、新規採用職員向けにエコアクション21の取り組みを説明しました。

## 7-5 環境コミュニケーション

西東京市で行った大気や騒音などの環境調査の結果をホームページや事務報告書で公表しています。

また、平成24年度において、市の事務事業に起因する苦情の受付はありませんでした。市域にて発生した住民からの環境苦情は下記のとおりです。苦情の件数は年度によって変動はあるものの概ね横ばいとなっています。建設・解体工事に関する騒音や、野焼きによるばい煙（大気）などの苦情が多く寄せられています。良好な生活環境の確保のためにも、適切な指導を行ってまいります。

環境苦情受付件数

現象別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大気	6	7	20	9	21
水質	0	1	0	0	0
騒音	34	29	22	27	34
振動	6	5	9	3	7
悪臭	8	12	8	13	11
土壌	1	0	0	0	1
その他	15	12	0	32	5
合計	70	66	59	84	79

## 7-6 環境法規制等の遵守状況

西東京市の各事業活動において、環境関連の法規違反及び訴訟、異常事態の発生等はありませんでした。



保谷庁舎前の花壇

## 7-7 市長による全体評価及び見直し

### 1 全体の評価

#### (1) 事務事業に即した環境配慮行動の実践

エコアクション 21 規格による環境マネジメントシステムの運用も 4 年となり、各課・施設ごとに職員の創意工夫による事務事業に即した環境目標を掲げ、環境配慮行動の実践を行っていることは評価できる。

#### (2) 環境マネジメントシステム運用の効率化

エコアクション 21 の情報については、職員ポータルシステムの定型文・資料のみどり環境部環境保全課内に収められており、職員が容易に入手できるようにしている。また、職員向けの「西東京市環境マネジメントシステムハンドブック」は、簡素化するとともに印刷による配布を行わず、省資源に努めている。

e ラーニングにより実施した職員研修は、時間的制約の解消はもとより、用紙の節約、職員の会場移動に係るエネルギー使用量の節減にもつながるもので、高く評価できる。研修内容も取り組みやすく工夫しており、職員の環境意識向上に役立っている。

また、記録用紙類の廃止・簡略化、重複していた決裁手順の見直し等、環境マネジメントシステムの効率的な運用が行われている。

#### (3) 省エネ・省資源に向けた環境配慮行動の実践

温室効果ガス排出量をはじめとする省エネ・省資源の目標は、電気、都市ガス、上水道の分野で目標未達成である。未達成の原因究明と使用量削減に向けた環境配慮行動のさらなる実践が必要である。

#### (4) 環境法規制遵守の確認手順の確立

エコアクション 21 審査において、環境法規制遵守状況が指摘されることもある。法規制遵守は環境マネジメントシステムにおいて重要な項目であり、確認手順の運用を確立する必要がある。

#### (5) 小・中学校でのエコアクション 21 の取り組み

平成 22 年度より、市内小・中学校でのエコアクション 21 の取り組みが本格化した。学校現場からの温室効果ガス排出量が多いため、更なる徹底した運用を期待する。

また、緑のカーテンや校庭の芝生化への取り組みは、児童・生徒に対する環境教育の推進のほか、地球温暖化対策にも大きく役立っている。

### 2 今後の取り組み

(1) 各課・各施設は、環境目標の達成に向けて、活動計画に基づく取り組みを実践し、環境負荷低減、環境保全活動に一層努めること。

(2) 環境配慮行動の推進には、職員の環境意識の向上が不可欠であることから、引き続き e ラーニング研修、庁内 Web による情報提供の充実に努めること。

(3) 温室効果ガスの削減効果が高い太陽光発電システムをはじめとする新エネルギー・省エネルギー設備を公共施設に積極的に導入すること。

(4) 西東京市内の温室効果ガスを削減するため、平成 22 年に策定済みである「西東京市

地球温暖化対策地域推進計画」及び「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画」の事業を計画的に推進すること。

- (5) 国、東京都が現在実施している新エネルギー、省エネルギー機器の補助事業をさらに促進させるため、西東京市としての支援策を積極的に行うこと。
- (6) 平成 23 年 3 月に寄贈された電気自動車 2 台について、導入後の成果及び運用状況について確認すること。







## 西東京市環境白書・環境活動レポート

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）

発行：西東京市 平成 25 年 10 月

編集：西東京市みどり環境部環境保全課

〒202-0011

東京都西東京市泉町 3-1 2-3 5 エコプラザ西東京

TEL：042-438-4042（直通）

FAX：042-421-5410

H P：http://www.city.nishitokyo.lg.jp

